

第9回 JaF-DaF (ヤフダフ) フォーラム

ドイツ語圏における日本語教育および日本におけるドイツ語教育の現状や問題点について情報交換を行なう本フォーラムは、毎年ドイツ語圏大学日本語教育研究会 (JaH) シンポジウムに合わせて開催しており、今回で9回目となりました。国際交流・研究協力等に関して、自由な意見交換やネットワーク作りの場をつくることを目的とし、日独の共同プロジェクトや実践報告の発表やディスカッションを行っています。

コロナ感染拡大により対面での開催が困難であるため、今回も昨年同様にオンラインで実施することになりました。基調講演として、ドイツ・デュッセルドルフ大学島田信吾教授が、ドイツの日本学専攻学生の研究テーマの動向についてお話しくださることになっています。

ドイツ語教育、日本語教育等に関心のある方、日独の共同研究に興味をお持ちの教員、学生の方、どなたでもご参加いただけますので、多くの方のご参加をお待ちしております。参加ご希望の方は、以下のURLからお申し込みください。

詳細

日時： 2022. 2.18(Fri) 19:00-21:30 (日本) / 11:00-13:30 (ドイツ)

場所： Zoomによる遠隔開催

申込： <https://forms.gle/6ejB8nH7NWwzC28G6> (参加費無料)

※申し込まれた方へ開催数日前にZOOMリンクをお送りします。



プログラム

19:00-19:05 /11:00-11:05 趣旨説明

19:05-20:00 /11:05-12:00 基調講演 島田信吾 (デュッセルドルフ大学)
「ドイツで『日本』を教えるということ」

20:00—20:30 /12:00-12:30 発表① 林志津江 (法政大学)

「留学先としてのドイツ・ドイツ語圏 — 日本の大学生がドイツ語とドイツ語圏に見出す魅力とは (仮)」

20:30—21:00 /12:30-13:00 発表② 高邑ツオルネック真弓 (レーゲンスブルク大学)
「日独タンDEM授業—実践報告と今後の課題 (仮題)」

21:00-21:30 /13:00-13:30 総合討論 + 各参加者による情報交換

司会：
林良子 (神戸大学) ・ 杉谷眞佐子 (神戸日独協会) ・ 杉原早紀 (ハンブルク大学)

主催：JaF-DaF Forum実行委員会

共催：日本独文学会ドイツ語教育部会・神戸日独協会・神戸大学国際文化学研究推進センター

問い合わせ先：林良子 (神戸大学国際文化学研究科) rhayashi@kobe-u.ac.jp